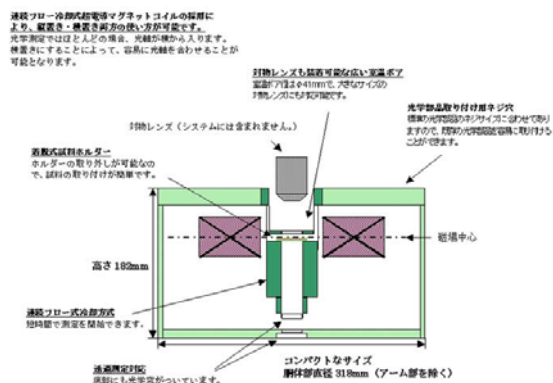


## 超伝導マグネット付き顕微分光用クライオスタットの開発

励起子アハラノフ・ボーム効果の実証などのためには、超伝導マグネットによる強磁場中で顕微蛍光測定を行う必要がある。そこで、超伝導マグネットとクライオスタットを一体化した機材をオックスフォード社と新たに共同開発した。この装置は全体としてコンパクトであり、機材の上面から試料までの距離が近いので光学系の構成が容易で、しかも従来品よりも低価格である。このクライオスタットは平成19年の初旬に開発を終えて、同年中頃から市販されている。



(左) 新型超伝導マグネット付き顕微分光用クライオスタットの  
の外見写真, (右) マグネットと試料保持部の断面構造。

[http://www.oxford-instruments.jp/Sc/Microstat\\_MO.html](http://www.oxford-instruments.jp/Sc/Microstat_MO.html)